

質問順位	10	質問者	佐々木 和 代 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
1. 保健福祉行政	1. 母子手帳アプリの導入について	<p>1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春の外出自粛要請の影響や感染を恐れて子育て支援制度の利用機会が減少するなど、自治体と子育て世帯を取り巻く環境は大きく変化しています。市内の妊婦さんもコロナ禍での出産に大きな不安を抱えています。</p> <p>滝川市においても今年度はマタニティクラスや赤ちゃん教室も3回1クールのところ、感染症対策のため1回限りの内容へ変更されています。妊婦検診、乳幼児検診の案内、保健指導、市の育児情報、ビデオ通話などのアプリを活用することで今回のような非常時にも対応でき、妊娠から出産、子育てをする女性にはとても安心できる支援になり子育てしやすいまちづくりにもつながると思いますが、母子手帳アプリ導入に対しての考えを伺います。</p>			
	2. 高齢者施設における新型コロナウイルス感染時の対応について	<p>1. 滝川市内でも11月に入り新型コロナウイルスに感染する人が出てきている状況です。高齢者施設においては感染者が出ると大きなクラスターに発展するケースが札幌市をはじめ全国的に見られているのが特徴です。厚労省からの通達では高齢者施設では一人でも感染者が出た場合は全利用者・従業員のPCR検査の実施をするよう指示が出ています。それは、早く感染者を特定しクラスターを起こさせないための対策と考えますが、報道では100人以上の定員の老健、特養施設などで感染した場合速やかに入院できないケースが目立っており、それが感染拡大へつながっていると考えられます。入院調整は保健所の役割であることは理解していますが、札幌市同様に速やかに入院できないことが予想されます。滝川市において高齢者施設で感染者が出て保健所の対応が追い付かない場合の支援はどのように考えているか伺います。</p>			